

縁が丘の台地にて

甲斐市立双葉中学校
学校だより 第5号
平成28年 7月22日
発行 長田 靖

授業日数72日 本日終業式

喜びも悲しみも積み重ねて、今日…

4月6日（水）の新任式・始業式から始まった双葉中の第1学期が、本日で終了しました。授業日数（学校に来た日）は72日でした（1年生は71日）。

この1学期、いろいろなことがありました。双中ならではの様々な行事、部活動の大会、何回ものテスト、いろいろなテーマで外部の専門家の方からお話を聞く機会もありました。

しかし、72日間の中には、大切な仲間を失うというたいへん悲しい出来事もありました。未だ、悲しみの癒えない人もいることと思います。あらためて私たちは、命を大切にということを真剣に考え、しっかりと実践していかなくてはならないと強く思います。

保護者の皆さんには、PTA活動や授業参観などを通して、いろいろとご支援・ご協力をいただきました。特に役員さん方には、定例の常任委員会をはじめとして、専門部ごとの打合せ等で何度も学校に足を運んでいただきました。生徒たちが安定した学校生活を送ることができているのは、ご家庭のご理解とご支援があってこそと、心より感謝しております。

通信表をご覧になりましたか？教科ごとの成績だけでなく、担任所見欄にもぜひ目を通してください。三者懇談でも話題に上がったと思いますが、学年始めに比べて成長が見られた点はどんなことで、夏休み中には何に取り組んでほしいか、力をつけて2学期には克服してほしい課題は何かなど…、たった数行ではありますが、生徒を毎日見ている担任ならでは厳しくも温かなコメントです。それぞれに今学期を振り返り、今後の学習と生活の指針にしていただきたいと思います。



☆双中の活躍（県選手権大会等）

柔道（6月26日） 男子団体 ○3-2甲府西 ●0-5下吉田
男女個人戦 健闘

剣道（7月2日） 男子団体 ベスト8、女子団体 1回戦
男子個人 Kくん ベスト8 Nくん 2回戦
女子個人 Kさん, Nさん 1回戦

新体操（7月2日） 個人総合 Sさん1位（ロープ、フープ共に1位）

ソフトテニス（7月10, 16日） 男子 Y・O組 ベスト8<関東大会へ>, T・M組 ベスト8, A・H組 2回戦



女子 N・Y組 3回戦, T・N組 2回戦
陸上（7月9, 10日） 男子 1年リレー (Y.H.S.H) 4位 Hくん 1年走幅跳7位
女子 Hさん 1年100m5位 Nさん 共通100m3位, 200m6位
Iさん 共通走幅跳3位 リレー (M.N.I.H) 4位

水泳（7月11, 12日） 男子 Uくん 200m個人メドレー6位<関東大会へ>

卓球（7月9日） 男女 予選リーグで健闘

地域の事業所の皆さん 大変お世話になりました！

梅雨明けを控えた7月6日（水）、7日（木）、8日（金）の3日間、医療や福祉、販売、運輸、製造、公共サービスなど多くの業種で、地元の甲斐市を始め県下多くの事業所様のご協力をいただいて、2年生の職場体験を実施いたしました。

本校では、生徒たちが自らの生き方を考え、生涯にわたって自己実現ができる主体的な進路選択・進路決定を目指して、3年間を見通した進路指導に取り組んでいます。3日連続の職場体験は、1年次の職場見学（保護者の職場など）の実践を踏まえ、綿密な計画による事前学習を重ねた上で、2年生のこの時期に位置づけられています。

事前の指導に至らない部分があったかもしれません、事業所様にはお手数をおかけしたことと思います。しかし、生徒達にはかけがえのない学び・体験の3日間でした。得たものを日々の学習や生活に生かしてくれることを期待します。

終業式で、こんな話をしました…**目指せ、夏の勝者！**



1 「○を制する者は 受験を制す」（受験生） ○に入る漢字は何？

夏ですね。熱くて長い夏休み。海や山、暑さを避けて遊びに出かけますが、他の人が勉強する気になれない暑い夏にコツコツ努力をした人、他の人が休みを満喫している間に勉強した人が勝利を収めるという格言。ちなみに受験には合格というゴールがありますが、スタートラインはありません。自分で引くのです。

2 「○を制する者は 夏を制す」（北海道・東北の高校球児） ○に入る漢字は？

冬です。冬は長い間雪で覆われる北海道・東北地方。グランドの部活はほとんど練習できない日が続きます。そんな中、自分たちで工夫努力して体力や技術の向上に努めたチームが甲子園に出場できるという格言。農家のビニールハウスの中で練習したり、長靴を履いて走り込むチームもあると聞きました。

3 「○を制する者は 世界を制す。」（ボクシング界） ○に入る漢字は？

答えは、左。スポーツの世界ではサウスポーやレフティーと言われたりする左利きですが、この左利きの人が有利になる競技が少なくありません。グローブで打ち合うボクシングの世界でも、サウスポーに対する防御方法を身に付けると同時に、利き腕の右と同じように左も使えるようになることがチャンピオンへの道であるとの格言。

この三つの格言の意味するものは何でしょうか？

それは「誰もがやりたがらないような時に」、「苦手としていることから目を背けないで」、「克服のために立ち向かう」ことが勝利の秘訣だということです。

考えてみれば、そのための時間が夏休みにはたっぷりとあるのです。時間の使い方は自由だし、あなた次第です。過ごし方次第で勝者にもなれるでしょうし、また敗者になる可能性もあります。部活動についても、この夏休みの取り組み方で秋の新人戦の結果もかなり違ってくると思います。

夏休みの計画をもう一度見直し、明日からと言わず、今日から夏の勝者となれるよう努力していきましょう。

オマケ

「夏休み セミより響く ○の声！」（県外の小6生）

…夏休み中の家庭の様子が目に浮かびます(ーー;)